

SCORE REPORT



Versant English Test

テスト用紙番号: 12345678

受験日: 11月 30, 2017

受験終了時間: 11:58 午前 (UTC)

総合点

46

スキルエリア	スコア	20	30	40	50	60	70	80
総合	46							
文章構文	47							
語彙	52							
流暢さ	49							
発音	34							

説明

総合	総合スコアは、日常的な話題についてネイティブの会話スピードで口頭英語を理解し、明瞭に話す能力を示します。総合スコアは4つの能力別スコアの加重平均により判定され、20から80の範囲でレポートされます。
受験者の能力	よく使われる単語や簡単な構文を使った発話に対処できる。ネイティブペースの会話についていくのは難しい。発音は時に理解しにくいことがある。ゆっくり話しポーズもあるが、理解ある聞き手であれば基本的な情報を伝えることができる。

PEARSON

© 2016 Pearson Education, Inc. or its affiliate(s). All rights reserved.

Ordinate and Versant are trademarks, in the U.S. and/or other countries, of Pearson Education, Inc. or its affiliate(s). Other names may be the trademarks of their respective owners.

For more information, visit us online at www.VersantTest.com



テスト用紙番号: 12345678

各スキルの点数の説明

スキルエリア	スキルを理解する	現在の能力
文章構文	文章構文は、発言を把握し、それを逐語的に発話する能力です。構文力や文章内における適切な単語、句、および節の使用の習熟度によりスコアが判定されます。	多くの語句や文節を理解、記憶、使用することができる。様々な意味のある文を発話する。
語彙	語彙力は、構文中の日常的かつ一般的な単語を理解し、自在に表現する能力です。日常的な単語の形式と意味の理解、また関連する発言におけるそれらの用法の熟達度によりスコアが判定されます。	はっきりと話された発話であれば、日常会話で使われる単語を理解し、使うことができます。
流暢さ	流暢さは、文章の組み立て、読み、反復の際のリズム、区切り及びタイミングの取り方の能力です。	語句の切れ目やポーズを取る位置などが不適切な場合が見られるものの、ある程度リズムよく話すことができる。言い淀みや繰り返し、言い直しがあり流暢さを失うことがあります。
発音	発音は、文脈においてネイティブ同様に子音や母音を発音し、強勢を置くことのできる能力です。日常単語の音韻構造の知識によりスコアが判定されます。	多くの子音及び母音の発音が不正確で、母語の影響が強く残っています。強勢の位置がしばしば不明確で、音節が余分に加わったり、逆に抜けたりすることがあります。聞き手はかなりの部分を理解することができません。

テスト用紙番号: 12345678

言語能力の詳細

このセクションでは、Versantテストにおいてある一定以上のスコアを獲得した、平均的受験者ができると思われる課題やインタラクションを記述しています。ここにある情報は、豊富な経験を持つ評定者の評価を分析した結果に基づいています。受験者の評価は、個人的な意見や見解を述べる自由回答式質問などVersant English Testの様々な質問に対する回答に基づいています。

スコアの解釈は、東アジア、中東、南米、東西のヨーロッパ諸国など、22の言語背景を持つ多様な受験者サンプルに基づいています。また男女の比率は同じであり、受験者の年齢は12歳から65歳までと広い年齢層に基づいています。(平均年齢は25歳)

このセクションはヨーロッパ言語共通参照枠組 (欧州評議会, 2001) に基づいています。評定者はここに記述されている評価基準を用いて各受験者の回答を評価しました。

ここに記載されている情報は多数の受験者の平均得点に基づいており、あくまでも平均的受験者の能力を示しています。受験者によってはパフォーマンスが記述よりも若干高めまたは低めということがあり得ます。(個人の結果については1-2ページ目にある「現在の能力」を参照してください。)

スキルエリア	この総合点あたりの英語学習者は一般的に以下のような能力があります。
リスニング	<ul style="list-style-type: none">はっきりかつゆっくりとした発声された発話であれば、具体的な要望に応じられる程度に理解できる。はっきりかつゆっくり話されていれば、周囲で議論されている話題を把握することができる。短く明確で簡単なメッセージやアナウンスであれば、主要点を把握することができる。
発話能力	<ul style="list-style-type: none">人物、生活や職場環境、日課、好き嫌いなどについて、リストとしてつなぎ合わされた短くて簡単な文を用いて話すことができる。人物、場所、仕事、勉強体験など日常生活について説明する事ができる。出来事や活動を短く簡単に説明する事ができる。自分の好き嫌いを説明することができる。質問を聞き直したり、返答に手助けをしてもらえることが可能であれば、複雑でない追加質問に答えることができる。
対話能力	<ul style="list-style-type: none">仕事や余暇の過ごし方の中で、馴染みのある日常的なことについて、簡単に直接的に情報交換するような場面であれば会話ができる。関心ある話題で慣れた内容のものあれば、短い会話に参加できる。明確でゆっくりであれば、周囲の話題をおおむね把握できる。関連情報を交換したり、直接聞かれれば実務的な問題について意見を述べる事ができるが、文を構成する上で助けが必要だったり、必要であればキーポイントを繰り返してもらい必要がある。

テスト用紙番号: 12345678

スキルエリア	この総合点あたりの英語学習者は一般的に以下のような能力があります。
言語特性	<ul style="list-style-type: none">身近な状況や話題について日常的な会話ができる十分な語彙力がある。簡単な構文であれば正確に使えるものもあるが、時制や人称の一致など簡単な間違いもする。ただし、意図する部分をはっきりと伝えられる。日常生活で必要となる限られた表現であればあまり間違わずに使うことができる。簡単な項目を並べて、物語を述べたり何かを描写したりすることができる。ポーズ、言い淀み、言い直しは目立つが、短い発言を駆使し理解してもらうことができる。
方略能力と技能	<ul style="list-style-type: none">具体的な日常的话题について、短い文や発話の中であれば、総体的な意味を用い、分からない単語の大体の意味を文脈から推測することができる。分からない時にストレートに繰り返しをお願いすることができる。キーワードやフレーズを理解できない場合、知っている表現を使って質問することができる。知っている言い回しの中から適したフレーズを選び、繰り返し使うことができる。

英語力をさらに向上させるには、以下の項目などを練習してみましょう。

- 放送番組の内容を注意深く聞き、全体の内容と詳細を把握するよう努める。
- 講義や討論を聞き要点を把握する練習をすること。
- 夢、希望、抱負を共有してみたり、中傷的な話題について考えを述べたりする練習をしてみる。
- 短編小説、記事、講義、討論、インタビューやドキュメンタリーについて自分の意見・感想をまとめるてみる。
- 自分自身の体験・出来事、または伝記やフィクションに出てきた出来事を、自分の感情や反応を交えて描写・説明する練習をしてみる。
- 了解度、強勢、発音、イントネーションに注意しながら話してみる。
- 家族、趣味、興味、仕事、旅行や時事問題について詳細に話すように心がけ、よく使われる単語や表現を増やす努力をする。
- 丁寧に表現することを学び、様々な状況に応じれるように努める。
- 興味のある分野でわからない言葉は文脈から意味を推測する練習をすること。また、理解できない時に相手に説明をお願いしたりする。
- 分からない単語の意味を文脈から推測し、辞書を使わずに文の意味を理解するように練習をする。
- クラスメートや同僚など他の人も会話に誘い、顔を合わせた中で会話を始め、持続し、終わる練習をしてみる。
- お互いの理解を確認し合うため、また会話の内容を話題にそったものであり続けるため相手の発話の一部を繰り返してみる。

テスト用紙番号: 12345678

その他のスコアやレベルとの関係性

Versant English Test と他の英語テストとの関係を調査する研究が行われ、ここにある予測相当スコアはあくまでも本研究で用いられたデータのみに基づいており、予測スコアを示してはいるものの、他のテストにおける点数を保障するものではありません。

テスト・スケール	スコア範囲
GSE	対応するGSEの点数 42 GSE: Global Scale of English は、10点から90点の尺度で表示されます。GSEは、ヨーロッパ言語共通参照枠(CEFR)と対応しています。さらに、ピアソンの各英語試験が比較できるように、実証的に作成された共通の等価尺度です。
ヨーロッパ言語共通参照枠組	ヨーロッパ言語共通参照枠組で相当するレベル A2 - 基礎レベル 非常に身近な事柄（例：自己や家族に関する基本的情報、買い物、地元の地理、雇用）についての文または頻繁に使用される表現が理解できる。身近で日常的な事柄に関して、簡単かつ直接的な情報交換のみを必要とするシンプルな日常活動において会話をすることができる。自分の経歴や周辺環境、当面必要とされる事柄について簡単な言葉で表現することができる。
TOEFL スピーキング	相当するTOEFL iBT スピーキングスコア 16-20 TOEFL iBTのスピーキングスコアは、TOEFLテストにおけるスピーキングセクションのパフォーマンスに基づいて採点されています。問題は6問あり、読んだり聞いたりした上で音声で回答します。TOEFL iBTスピーキングの回答は0-4の範囲で評価され、その後0点から30点の尺度に変換されます。
TOEFL 全体	相当するTOEFL iBT 総合点 57 - 86 TOEFL iBT の総合点は、Reading, Listening, Speaking, Writingの4セクションの点数に基づいています。TOEFLは大学で使われる教材や課題を使いアカデミック英語を測定するとされています。総合点は0点から120点の範囲で採点されています。
TOEIC	対応するTOEICの点数範囲 690 - 733 TOEICテストはリスニングとリーディングセクションから成るマークシート式のテストです。TOEICでは国際的な環境で働く人達の英語コミュニケーション能力を測定すると言われています。TOEICの点数は10点-990点の間で採点されます。

Versant English Testとその他の英語テストでは言語能力の中でも異なる構成概念を基に開発されており、あくまでも予測スコアです。研究の詳細をお知りになりたい方はご希望ください。